

# 令和7年度第3回文京区障害者地域自立支援協議会

## 就労支援専門部会 次第

令和8年1月19日(月)午後2時から

会場：文京シビックセンター3階 障害者会館A・B

### 1. 開会

### 2. 議題

- (1) 令和7年度就労選択支援事業に係る取組みについて【資料第1号】
- (2) 令和7年度 障害者地域自立支援協議会 全体会について【資料第2号】

#### 参考資料

参考資料1：令和7年第3回就労支援者研修会配付資料 アセスメント結果シート

参考資料2：令和7年度就労選択支援 アセスメント可能な作業場面に関するアンケート結果

参考資料3：就労選択支援事業のチラシ

参考資料4：支援者説明用補足資料 令和7年12月版

# 令和7年度就労選択支援事業に係る取組みについて

令和7年度第3回就労支援専門部会

令和8年1月19日（月）

資料第1号

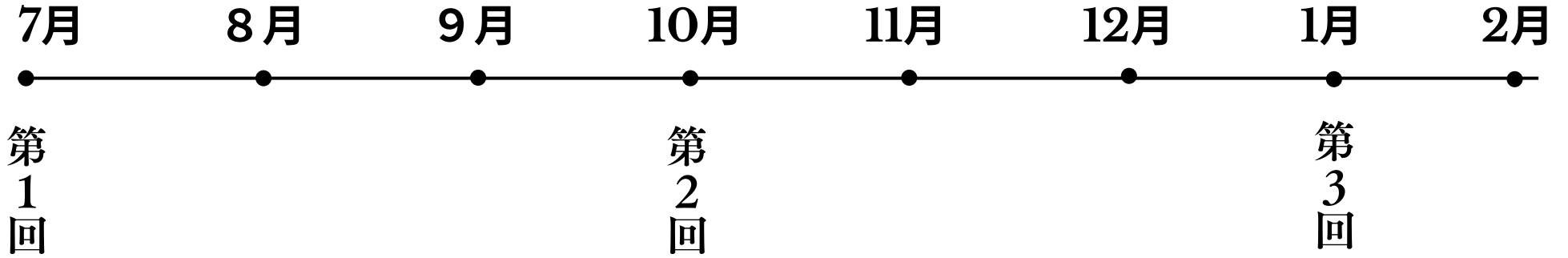
- 第3回支援者研修会
- モデル事例
- アセスメント実施についてのアンケート
- チラシ及び説明補足資料
- その他

# 令和7年度スケジュール

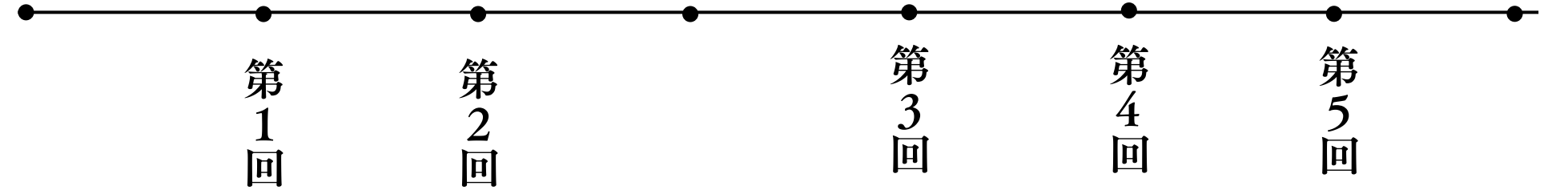
資料第1号

.....

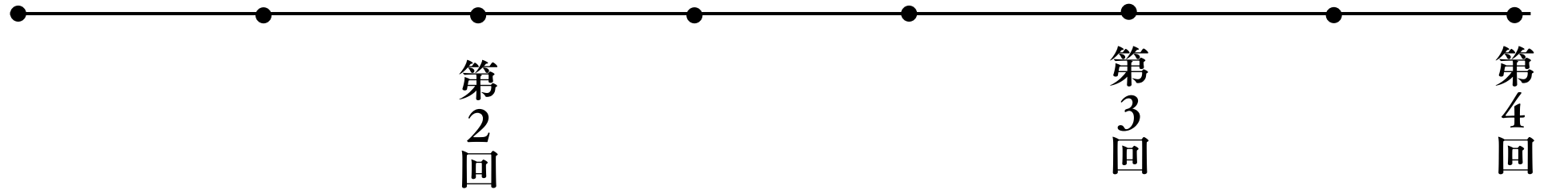
就労支援専門部会



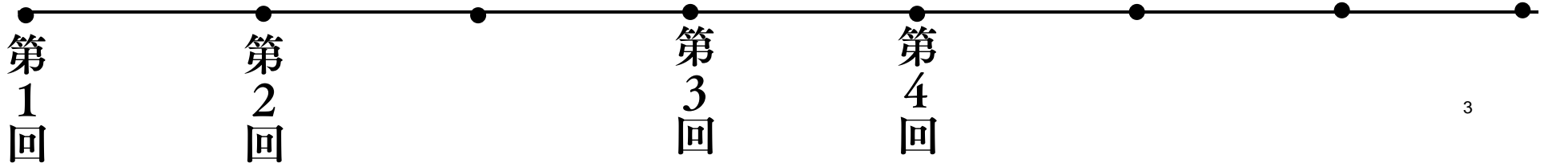
ワーキンググループ



支援者研修会



3区 合同検討会



# 第3回支援者研修会 令和7年

---

## ねらい

- (1) 区内就労選択支援事業所における作業場面のアセスメントから進め方、実際の事業所の様子を把握し、適切な情報提供ができるようになること。
- (2) 区内関係者が、どのような形で就労選択支援事業に関わっていくのか、関わる必要が出てくるのかをそれぞれがイメージできること。

## 参加メンバー

区内就労支援関係機関・障害者基幹相談支援センター、生活支援拠点・相談支援事業所・特別支援学校・放課後等デイサービス・医療機関・区担当係

## 内容

- (1) 区内就労選択支援事業所における作業場面のアセスメントの紹介
- (2) 多機関連携会議のロールプレイ「特別支援学校卒業後、B型事業所の利用を考えている軽度知的障害のある方が就労選択支援事業を利用」

(ロールプレイ役：就労選択支援員・本人・相談支援専門員・特別支援学校教諭・就労継続支援B型支援員・障害者就労支援センター職員)

# モデル事例

---

## 目的

就労選択支援事業の流れについて、実際の流れで試行することによって、今後検討が必要なことや改善が必要なことを整理する。

## 参加メンバー

- (1) 就労選択支援事業所タイトルハーベ
- (2) 銀杏企画のご利用者・ご担当者
- (3) 同ご利用者に関わっている関係機関
- (4) 障害者就労支援センター

## 内容（令和8年1月～）

### 【第一日目】

インタビュー面談・アセスメントメニューの確認と調整・作業場面アセスメント

### 【第二日目】

作業場面のアセスメント

### 【第三日目】

多機関連携会議

# アセスメント実施についてアンケート

---

## 目的

就労選択支援事業におけるアセスメントを実施する上で、地域内において「どこで」「どんな」作業場面のアセスメントができるのかを把握する。

## 内容

各事業所において、アセスメント可能な作業場面（仕事内容）とアセスメントとして観察・評価できる要素についてアンケートを実施する。

## 対象

3区の就労支援関係機関(就労移行・A型・B型)

## 期間

令和7年11月～12月

# アセスメント実施についてアンケート

## 結果

回答：48か所/68か所 文京区・千代田区・中央区の就労移行・就労継続支援A型・B型・自立訓練

就労移行22か所・就労継続支援A型1か所・就労継続支援B型23か所・自立訓練(生活訓練) 3か所

**Q.就労選択支援で必要とする作業場面アセスメントに対して、貴事業所の作業場面を提供しアセスメント協力することは可能ですか?(単一選択)**

協力できる 7か所 ・状況により応相談 30か所 ・現時点では難しい11か所  
(移行1か所・B型6か所)

**Q.貴事業所でアセスメント可能な作業場面(仕事内容)について、該当するものを全て選んでください。(複数選択可)**

1. 軽作業(袋詰め、封入、ラベル貼りなど) 34か所
2. パソコン作業(データ入力、文書作成など) 23か所
3. 事務補助(書類整理、ファイリング、コピーなど) 19か所

**Q.上記の作業でアセスメントとして主に観察・評価できる要素について、該当するものを全て選んでください。(複数選択可)**

10. 作業中の安全意識や姿勢 9か所
9. 作業中の他社との関わり方/作業のたいするモチベーション・継続力 10か所

# 就労選択支援事業チラシ及び資料送付先

---

○1000部印刷（予定）

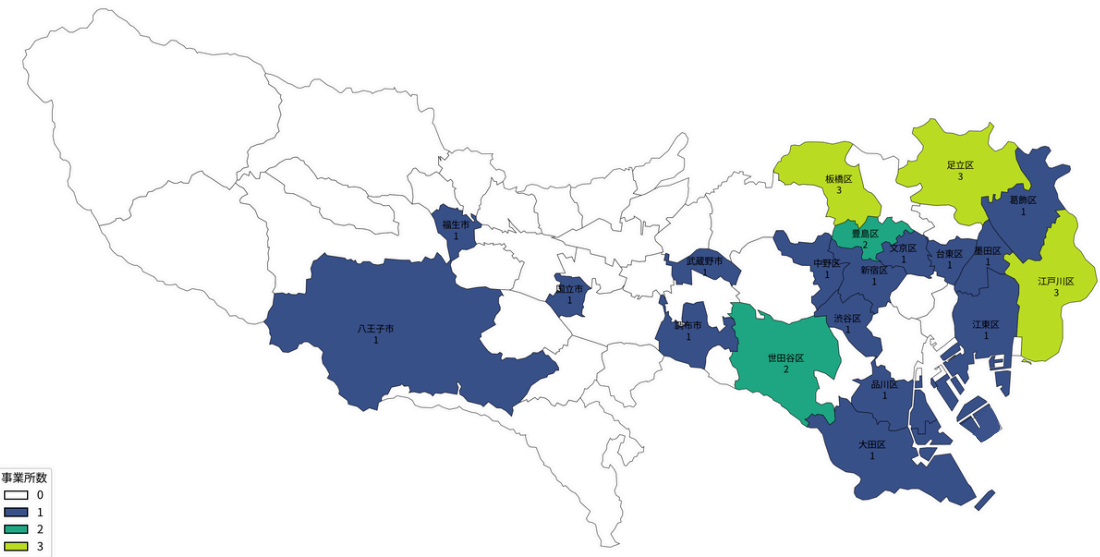
○就労支援専門部会・ワーキンググループの皆さまの事業所

- ・文京区各担当窓口係
- ・保健サービスセンター
- ・障害者基幹相談支援センター
- ・計画相談（者見合わせて16か所）
- ・就労移行支援（6か所）
- ・就労継続支援B型(13か所)
- ・自立訓練(1か所)
- ・生活介護(8か所)
- ・就労選択支援(1か所)
- ・精神科デイケア  
(小石川メンタルクリニック・東大DH)
- ・特別支援学校  
(王子特別支援学校・筑波大学附属大塚特別支援学校・北特別支援学校・文京盲学校)
- ・教育センター
- ・児童相談所
- ・ハローワーク

→以前ご意見いただいているチラシ等のホームページへの掲載のご相談

→チラシと補足資料の作成主旨や利用意図が伝わるよう送付。

# 東京都内就労選択支援事業 状況



区分	区市	合計	非営利等	営利
23区	新宿区	1	資料第1号 1	0
23区	文京区	1	0	1
23区	台東区	1	0	1
23区	墨田区	1	1	0
23区	江東区	1	0	1
23区	品川区	1	1	0
23区	大田区	1	1	0
23区	世田谷区	2	2	0
23区	渋谷区	1	0	1
23区	中野区	1	1	0
23区	豊島区	2	0	2
23区	板橋区	3	1	2
23区	足立区	3	3	0
23区	葛飾区	1	1	0
23区	江戸川区	3	2	1
市	八王子市	1	1	0
市	武蔵野市	1	1	0
市	調布市	1	1	0
市	国立市	1	1	0
市	福生市	1	1	0
		28	19	9

※東京都障害者サービス情報のデータを元に加工(12月18日時点)

**就労選択支援事業で  
地域として、あるいは委員の皆さまが**

- ・ 一番大切にしたいこと**
- ・ 一番期待したいこと**

**を名詞1語（最大2語程度）で表現をお願いします。**



# 令和7年度 全体会の概要案

## 【開催日時】

令和8年3月3日（火）午後2時から午後5時まで

## 【開催場所】

区民センター3A

## 【委員】

親会委員、就労支援専門部会員

## 【周知対象者】

専門部会員、障害者団体、相談員、差別解消支援地域協議会委員、  
民生・児童委員、学校関係者（特別支援学校、その他の学校、区内大学）、  
障害福祉サービス等事業所（障害児の関係を中心に）、障害児やその保護者・関係機関  
千代田区、中央区の就労支援センター

# 令和7年度 全体会の進行案

(3時間を予定)

1. 資料確認等 (5分)
2. 開会挨拶、自立支援協議会全体会の趣旨説明 (25分) …高山会長より
3. 区の現状・制度説明 (15分)
4. 専門部会から今年度の取組、来年度に向けて (15分×4部会)  
休憩 (10分)
5. 就労支援専門部会の取組 (65分)
  - ① 就労選択支援について (25分)
  - ② モデル事例の発表 (30分)
  - ③ 質疑応答 (5分)
6. 閉会挨拶 障害福祉課長より (5分)

## アセスメント結果シート

※令和7年第3回文京区障害者就労支援者研修会 配布資料

### 利用者情報

利用者氏名： A  
生年月日： 1995年7月1日  
居住地： 東京都文京区  
連絡先： 090-1234-5678

### 本人に関する情報

#### 本人の就労等の希望：

3年前からB型事業所に通所しています。最近通所にも慣れて来て、週4日、一日5時間程度集中して作業が出来るようになってきました。事業所の職員さんから、そろそろ一般企業への就労を考えてみて良いのではないかと提案されましたが、よく分からないので不安です。そもそも自分が就労できるのかどうかや、どんな仕事なら合っているのか知りたくて、利用を希望しました。パソコンの経験はありませんが、データ入力などに興味はあります。

#### 職種・仕事の内容に関する希望：

まだ決まっていませんが、自分のペースで長く続けられる仕事があると良いです。

#### 希望する合理的配慮：

まだよくわかりません。B型事業所では、混乱してしまうので指示は一つずつもらうようにしています。

#### 希望する支援：

初めての環境や人に緊張してしまうと、頭が真っ白になったり、言葉が出てこなくなったりすることがあるので、指示や実習はゆっくり進めてもらいたいです。

#### 家族の意向：

将来的には就労も選択肢の一つだと思っていますが、本人のペースで無理なく進めてもらいたいので、あまり周りと比べるようなことをせず、焦ってしまわないような言葉がけをお願いしたいです。

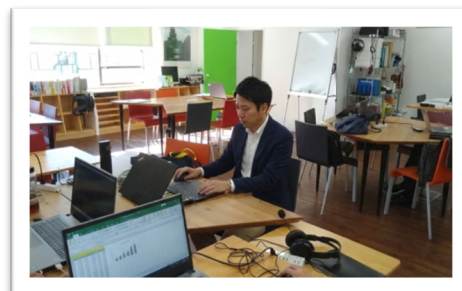
### アセスメント期間

2025年12月1日～12月28日

## 期間中の取り組み

### 【研修受講】

- 12月3日(水) IT 研修 (PC 操作 1)
- 12月5日(金) BP 研修 (企業で働くとは)
- 12月8日(月) 実務研修 (タイピング練習)
- 12月9日(火) 実務研修 (データ入力)
- 12月10日(水) IT 研修 (Office/Word)
- 実務研修 (文書作成)
- 12月12日(金) 実務研修 (グループディスカッション)



計 7 コマ履修

### 【その他支援】

- 12月9日(水) 精神科医師によるカウンセリング

## アセスメント結果

### 強み・できていること：

パソコンが初めてということで、基本操作と Word、データ入力を中心に挑戦して頂きました。マウスの操作に少し戸惑われたようですが、徐々に慣れて行き、1 週間の間にスムーズに扱えるようになり、諦めず取り組む粘り強さが発揮されました。データ入力では、正確に入力するために、原稿に定規を当てて項目がずれないように工夫するなど、自分なりの工夫ができる点も評価できます。

グループディスカッションでは積極的に発言する一方、他の人の意見もしっかり聴くなど、協調性を発揮できていました。BP 研修は少し難しかったようですが、自分にとって働くとはどういうことか、違う角度から考えるきっかけになったようです。

### 就労に向けて取り組んでほしいこと：

計 6 日間のプログラムでしたが、初めての環境であることも影響したのか、2 時間の集中を続けた後、だいぶ疲労感が残るようでした。一般就労する場合、時間の長短はありますが、ある程度の時間、作業に集中することを求められますので、現在の事業所で安定的に通所を続ける等して、基礎的な体力を向上させていくと可能性が広がります。焦らず継続してください。

また障害者の働き方について、最近は色々なバリエーションが出てきており、フルタイム (6~8 時間)、時短勤務 (4~6 時間)、超短時間勤務 (2~4 時間) などの選択肢があります。通所されている B 型事業所の職員の方と一緒に幅広く情報収集したり、一般企業の取組みや障害者雇用について関心を持ってニュースなどを見たりするようにしていくと、少しずつイメージが固まり、自分の希望が見えてくるのではないのでしょうか。

服装・身だしなみについては、もう少し改善が必要です。身の回り・カバンの中の整理整頓等から取り組んでみてください。

### 支援機関から提供する (した) 情報：

併設の就労移行支援事業所ベルーフに、B 型事業所を経て通所し就労した人の事例を紹介しました。(複数事例を伝えることで、就労までの期間は個人差があることを補足しています)

強みとして、「粘り強さ」「作業効率向上の工夫」「メンバーの意見を聴く協調性」が見られましたので、適性の評価としてフィードバックしました。

カウンセリング担当医師との面談では、主治医に薬の飲み忘れを伝え辛いとの話が出ましたので、伝える時のアドバイスや、正確な情報共有の必要性について話し合いました。

**将来の可能性：**

B型事業所の通所経験から、他者との関係性の構築、周りとの協調、一定時間の集中などが培われており、将来的な一般企業への就労は十分可能と判断されますが、働き方（時間や勤務環境）については、本人の特性を踏まえ、企業側の十分な配慮を得ることが必要と思われます。またご本人側にも、働くことについての自分自身の向き合い方、障害特性などの自己理解、長期的な力のコントロールなど、まだ課題があるため、少し時間をかけて準備をした後が良いと思われます。B型事業所の方とも、本フィードバックを元に話し合ってみてください。

**必要な支援と配慮：**

本人の心情を第一とした、関係機関による情報提供

本アセスメント結果を踏まえた、医療機関・支援機関による定期的な相談支援

**総合コメント：**

今回のアセスメントにより、将来的な一般就労は可能であると思われますが、体力面や緊張のコントロール等、準備を整えてからの行動を推奨します。

## 本人からの感想

### 本人からの感想：

6日間すごく緊張して疲れました。文書作成やデータ入力は思ったより面白く、集中しすぎた感じでした。企業で働くには、まだまだ自分のコントロールが要るんだと分かりました。事業所のスタッフさんとよく相談したいと思います。

### 今後の希望：

企業での就労が可能なら目指してみたいと思います。

## 準備性評価結果

就労準備性		
カテゴリ	評価基準	達成レベル
1. 勤怠	勤怠実績が基準を満たしている。	A(ほぼ達成)
2. 外見	清潔感のある服装をしている。 健康さを感じさせる姿勢と動作である。 適度な声の大きさと、話す言葉が明瞭である。	C(未達成)
3. 取り組み姿勢とベスト意識	経験の有無、得手不得手、好き嫌いに関わりなく物事に取り組むことができている。 改善意欲があり、常にベストを目指し、工夫できている。	A(ほぼ達成)
4. 自己主張・傾聴・調整	自己主張と傾聴ができている。 他の人との違い（考え方、意見）を理解できている。 解決に向けての議論・調整ができている。	B(やや未達成)
5. 果敢さと慎重さのバランス・QCD意識	チャレンジ精神が旺盛であると共に検討が緻密である。 失敗しても投げ出さず、次に向けて改善策を考え、行動することができている。 常にQCD意識を持って発言・行動ができている。	B(やや未達成)
6. 準備と必達意識	全体を俯瞰してから作業を開始することができている。 一日の訓練開始5分以上前に、その日の作業開始の準備ができている。 諦めずに最後までやり切ることができている。	A(ほぼ達成)
7. 自主性	人の発言、ネットでの発言ではなく、自分の理解・考えで発言・行動できている。	C(未達成)

8. 報告	漏れなく、重複なく、タイムリーに、短時間に報告ができています。	A (ほぼ達成)
-------	---------------------------------	----------

**職業準備性 (ビジネス)**

カテゴリ	評価基準	達成レベル
1. 企業理解	企業が社会から求められていることは何かを正しく理解出来ている。	B (やや未達成)
2. 仕事観5つの基本-貢献による報酬の基本	企業で働くとは、顧客の創造に貢献することであると理解出来ている。	未実施
3. 仕事観5つの基本-職業人の基本	プロとして働く心構えと、技術を磨く練習の必要性を理解出来ている。	未実施
4. 仕事観5つの基本-人間関係の基本	職場での人間関係について適切に理解し、スムーズな連携をつくることが出来る。	未実施
5. 仕事観5つの基本-組織活動の基本	仕事観5つの基本-組織活動の基本	未実施
6. 仕事観5つの基本-自己実現の基本	業務にあたり、適切に創意工夫を取り入れ、自主的に取り組むことが出来る。	未実施
7. 応対コミュニケーションの習得	基本的な応対コミュニケーションが出来る。	未実施
8. 就労マーケティング発想の理解	就労市場において、自分の強いを正しく理解し、発揮できる企業とのマッチングを図ることが就労活動であることを理解している。	未実施
9. 就労活動準備 (書類作成・面接 RP)	基本的な就労活動の準備が出来ている。	未実施

**職業準備性 (IT)**

カテゴリ	評価基準	達成レベル
1. PC 操作スキル	PC を使ったブラウザやメール、Office の操作の基本的な操作が出来る	B (やや未達成)
2. PC ハードウェアの基礎知識	コンピュータやネットワークの仕組みを理解している	C (未達成)
3. プログラミングの基礎スキル	何らかの言語を使って自力でプログラムを書くことができる	未実施
4. IT 関連ツールの操作スキル	新しいアプリケーションでも外部情報等を参照しながら自力で使うことが出来るようになる	C (未達成)
5. ネットワークの基礎知識	インターネット等ネットワークの基本的な仕組みを理解している	未実施
6. データサイエンスの基礎知識	統計学の基本的な概念 (平均、分散、相関、回帰)、データ分析の目的について	未実施

	理解している	
7. WEB フロントエンドの基礎スキル	WEB サイト構築の知識があり HTML や CSS を簡単な WEB サイトを書くことができる	未実施
8. 情報セキュリティの基礎知識	個人情報保護、ウイルス対策、不正アクセス対策など、基本的な情報セキュリティの脅威と対策の概念を理解している。	未実施
9. IT 分野の問題解決能力	IT 機器やアプリケーションのトラブルを自力で解決することができる	未実施
10. IT 新技術への学習意欲	新しい技術について興味を持ち学習に取り組める。業務に必要な技術は自力でキャッチアップできる。	B(やや未達成)

■回答事業所数：48

最多回答〈シェア(%)：対「事業所」／対「項目」〉

内容	回答項目	回答数	有効回答数
所在区について	千代田区	18	48
	中央区	12	
	文京区	18	
事業種別について	就労移行支援	22	48
	就労継続支援A型	1	
	就労継続支援B型〈47.9／46.9〉	23	
	自立訓練(生活訓練)	3	
利用者の主な障害種別について(複数回答可)	身体障害	13	48
	知的障害	23	
	精神障害〈81.3／34.2〉	39	
	発達障害	25	
	高次機能障害	6	
	難病疾患	8	
①就労選択支援で必要とする作業場面アセスメントに対して、貴事業所の作業場面を提供しアセスメント協力することは可能ですか?(単一選択)	協力できる	7	48
	状況により応相談〈62.5／同〉	30	
	現時点では難しい	11	
①の質問で「現時点では難しい」と回答された場合の理由をご記入ください。	(1)当事業所は2025年12月31日で廃止するため。		
	(2)事業廃止を予定しているため。		
	(3)プログラムとして作業を主とするものの提供が難しい。		
	(4)場所と人員。		
	(5)人員不足のため。		
	(6)事業所内での作業を工面している最中のため。		
	(7)開所して半年という状況でありまして、現時点ではお受けすることが難しいと考えております。		

	<p>(8)事業所で行っている訓練が特殊なため。</p> <p>(9)そもそも就労選択支援事業の開始が未定の状況になってしまったためです。</p> <p>(10)当事業所は、グループワークを中心に、疾病理解やストレス対処、自己理解などを目的としたプログラムを実施しております。就労系のプログラムとしては、記事の要約やプレゼンテーションなど、ビジネス場面を想定した内容にも取り組んでおります。ただし、実際の作業場面を設定して評価を行うような「作業のアセスメント」については、プログラムの性質上、対応が難しいのではと考えております。</p> <p>(11)アセスメントに適した作業を行っていないため。</p>
<p>①の質問で「状況により応相談」もしくは「現時点では難しい」を回答された場合、協力可能な条件等があればご記入ください。</p>	<p>(1)作業の繁忙期などは対応が難しいと思います。</p> <p>(2)利用者の登録状況によると考えております。事業所スペースが広くないため、物理的、人間的に余力があれば受け入れ可能と考えています。</p> <p>(3)費用按分や実際の動きなどの詳細が決まれば受け入れは可能。</p> <p>(4)実際の流れや費用の按分率などの詳細が決まれば、受け入れは可能。</p> <p>(5)作業場面でのアセスメントに使用する物品の準備やセンターの環境(主に音)が可能であれば。</p> <p>(6)条件:利用者が口頭または文書マニュアル等を介して作業指示を理解できること、利用者が施設職員の指示に従うこと、利用者が施設内のルールを順守できることなど。</p> <p>(7)アセスメント材料として即した作業の安定的な共有が確保できている時期、スペースの確保。</p> <p>(8)事業所の総利用人数により相談。</p> <p>(9)スタッフ人数、会議室の空き、社内確認が必要。</p> <p>(10)繁忙期や実習生受け入れ時等の時期、実施作業内容のタイミング、対応可能職員の余裕等、評価項目の明確化。</p> <p>(11)利用者さんの状況に影響がない範囲でなら可能。</p>

- (12) 事前の日程調節が必要な為。
- (13) 事業所の登録状況や、利用者の疾病によって判断したい。また、アセスメントの全容が理解できていない為。
- (14) 現利用者が多いと、スペース、PC、対応できるスタッフが不足するかもしれない。
- (15) 内容が安定している作業に限定となれば可能かもしれないです。
- (16) 当事業所の運営が安定した際にはぜひ参加させてください。
- (17) どのような業務に対するアセスメントを取るか、また、作業面だけでなくどのような角度からのアセスメントを必要とされるかにもよる。
- (18) 利用者が他の研修で訓練中の中同時に行うため、スペースとアセスメント人員がいればできるかもしれません。
- (19) 参加人数や職員人数、内容等によって検討ができそうです。
- (20) 建物の構造上スペースの確保が難しいが、代表に相談して許可ができれば協力可能です。
- (21) 就労移行の利用者を対象とした就労準備性訓練(プログラム等)への参加がベースになるため、一定程度、他利用者と一緒に事業所内で過ごせる方を対象とせざるを得ない。知的障がいある方や自閉傾向ある方を対象とした、PC・作業、及び集団内でのアセスメントには協力できる余地があると考えている。
- (22) アセスメント内容により得意分野と作業内容の提供に難しい場合があるため。
- (23) 作業の確保が難しい場合。→その時期に作業依頼が極端に少なく提供出来る作業が殆どないといった特殊な状態の時。
- (24) 施設内での作業対応内容の状況によってなります。
- (25) 日程調整(日によって作業スペースの問題がある)。

(26)曜日・時間の制限、受け入れ可能人数、体験利用も兼ねれば可能であるが、インテークも含む。また、職員の立ち会いが必要有無など細かい取り決めがあると受け入れやすい。

(27)現在、通所していただいている利用者様は、就労スキルの習得のため、訓練を続けて頂いていることをご理解していただいた上で、作業場面のアセスメントをしていただきたいです。

・時間：10時～16時

・曜日：要相談 アセスメント日は、利用者様の通所日に合わせて頂く形になります。

・職員立ち合いの下、作業場面アセスメント希望

(28)状況により協力が難しい時期もあるため応相談としました。

例：曜日・時間の制限、受け入れ可能人数、体験利用も兼ねれば可、職員の立ち会いが必要の有無など。

②就労選択支援事業所とアセスメントの連携を行うにあたり、連携の方法や仕組みとして希望する内容があればご記入ください。

(1)いまはまだ思いつきません。

(2)多数の関係機関や支援者の方々にご参集いただきたい。計画相談に繋げる仕組みを希望します。

(3)想定できる範囲で以下を希望します。・初回に基本情報を共有し、支援方針をすり合わせたいです。・月1回程度のケース会議で、状況共有と方針調整を行いたいです。・サービス等利用計画やアセスメント内容を必要な範囲で共有したいです。・日々の変化を簡易に共有できる連絡手段の活用を希望します。・トラブル発生時の連絡・対応ルールを事前に明確にしておきたいです。

(4)窓口担当者の一本化、評価基準の統一、フローの明確化。

(5)手順や説明を詳しく教えていただけるとありがたいです。

(6)台東区の「障害者支援アプリ ささえ～る」のような、区内事業所一覧が検索できるほか、空き状況が確認できるホームページやツールがあると、連携が図りやすいと考えます。

(7)弊社ご利用検討の前提であれば。

(8)現在就労移行を利用している利用者さんに影響がなければ、問題ございま

せん。

(9)通所中の利用者と所内でともに過ごせることが連携の前提となるため、その判断ができる情報を事前にいただきたいです。事前にご本人に事業所を見学していただくなど、当事業所の環境がアセスメント趣旨に沿ったものであるか、ご本人がある程度当事業所で過ごせるかの確認のための機会はいただきたいです。

(10)電話・メール・対面。

(11)事前打ち合わせの実施。

(12)事前打ち合わせ、就労アセスメントが適切に評価できているか確認していただきたい。

(13)事前打ち合わせの実施。

(14)事前打ち合わせがあると良い、チェックリストの共有が必要、フィードバック様式が欲しいなど。また、障害特性に合わせた、チェックリスト化、出来たかできないかなどの簡単なものかにもよりますが、備考欄なども設けて支援者の工夫などもかけるといいと思います。

(15)事前の打ち合わせや事前資料等を希望します。

(16)例：事前の打ち合わせがあると良い、チェックリストの共有が必要、フィードバック様式が欲しいなど。

③貴事業所でアセスメント可能な作業場面(仕事内容)について、該当するものを全て選んでください。(複数選択可)	軽作業(袋詰め、封入、ラベル貼りなど)〈81.0/31.5〉	34	42
	清掃業務(トイレ清掃、床掃除、ごみ回収など)	15	
	調理実習(計量、食器洗い、盛り付けなど)	4	
	パソコン作業(データ入力、文書作成など)	23	
	接客・販売補助(接客対応、陳列補助など)	1	
	工房系(手工芸、製品組み立てなど)	5	
	農作業系(植え付け、収穫、仕分けなど)	1	
	配送補助(荷物運び、仕分け、積み込みなど)	2	
	事務補助(書類整理、ファイリング、コピーなど)	19	
	その他(自由記述：無)	4	
	④上記の作業でアセスメントとして主に観察・評価できる要素について、該当するものを全て選んでください。(複数選択可)	作業の正確さ(ミスの有無、品質)	
作業スピード(所要時間)		16	
指示の理解と実行		18	

注意持続・集中力	16	42
作業中の安全意識や姿勢	9	
作業中の他者との関わり方	10	
報告・連絡・相談の適切さ	15	
作業にたいするモチベーション・継続力	10	
上記全ての項目<52.4/30.9>	22	
その他(自由記述：上記の項目を含めた就労スキルを習得のため訓練継続中です。評価の点において、ご参考の範囲としてご認識いただければと思います。	3	

ご質問等がございましたらご記入ください。

(1)設問④について「全て」を選択しましたが観察・評価の具体的な方法をご提示いただければより適切な対応ができると思います。(設問については本事業所で行っている方法や基準をもとに返答いたしました)

(2)現在センターにある物品を使用してとなると可能な作業場面が絞られます。

(3)まだ就労選択支援について理解できていな点も多く、回答が難しかったです。

(4)支給決定期間内で収まらない(次に繋げない)場合はどう対応すれば良いか、またどの時点で延長申請をして、どの時点で延長の支給決定がおられるのかご回答いただきたいです。

(5)③④は該当するものがないので「その他」にしております。

(6)④について、①にも記載したように、作業の有無のタイミングにより評価できない作業項目もあり、対応不可となる可能性もあります。前回のWGでも話題に挙がった加算についても、アセスメント受入事業所にとって不利のないような仕組みとなれば良いなと思っています。

(7)当事業所が関わる場合は事前に相談をいただけると助かります。

(8)いつもお世話になっております。  
質問ではございませんが、今後も就労選択支援に関する研修会などがございま

したら、ぜひ参加させていただきたいです。  
よろしくお願いいたします。

(9)本当は指定申請したいのですが、、、要件を満たせず、、、あまりお役に立てず  
申し訳ありません。

(10)いつもありがとうございます。進める中で、不明点等が出てきましたらご相談  
させてください。どうぞよろしくお願いいたします。

(11)③の自由記述が記載できませんでしたので、こちらへの記入で失礼します。  
当事業所はITに力を入れてますので、データ入力、文書作成以外にも動画編集  
やリサーチ業務なども作業内容としては行っておりますので、その点の協力も可能  
かと考えております。  
何卒よろしくお願いいたします。

はたら かた み  
働き方をいっしょに見つける

いし けつてい し えん  
意思決定支援

しゅうろう せんたく し えん  
「就労選択支援」

はじまります

どうき つけ 支援  
動機づけ支援

さぎょう の ようす など を もと に 得意 ・ 苦手 ・ 必要 な 配慮 を 整理 し、 本人 と 一緒 に 次の 一歩  
(就労移行支援 ・ 就労継続支援A型 ・ B型、一般就労など) を 考え ます。

就労 に関する 本人 の 意思決定 を 支援 する 就労選択支援事業所 の サービス です。

サービス内容

- ・ 「確認」(アセスメント)：得意・苦手、体力やリズムを一緒に確かめます
- ・ 「体験・見学」：仕事場を見たり、作業を体験をします
- ・ 「えらぶ」：あなたに合う仕事・働き方・進路を一緒に考えます
- ・ 「つなぐ」：必要な支援機関や制度の情報提供を行います

利用相談

作業体験

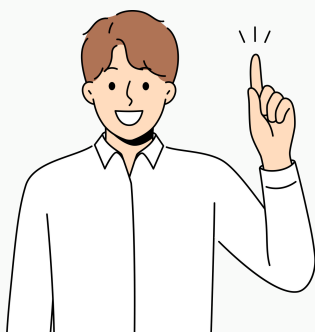
多機関  
連携会議

次の一歩  
へ

「確認」  
「体験・見学」

「えらぶ」

「つなぐ」



自分に合う仕事・働き方・福祉サービスを一緒に考えていきましょう

# よくあるご質問

Q. 何をしてくれるの？

A. 障害のある方が自分に合った就労先や支援サービスを選べるように、就労選択支援員が面談や作業体験などのアセスメントを行い、希望・能力・適性を整理する支援サービスです。

Q. 料金はかかりますか？

A. 他の障害福祉サービスと同様の自己負担があります。ただし、収入・所得に応じて上限が設定されます。利用される方の年齢によっても異なりますので、詳細は下記窓口へご確認ください。

Q. 誰が利用できますか？

A. 就労移行支援や就労継続支援A型・B型の利用をしている方、または検討している方が対象です。

Q. 利用はどのくらいの期間になりますか？

A. おおむね1か月程度の期間になります。

**令和7年10月以降に新たに就労継続支援B型を利用する方は原則利用となりますが、状況に応じて従来通りの手続きも可能です。詳細は下記窓口へご確認ください。**

サービス類型		新たに利用する意向がある障害者	既に利用しており、支給決定の更新の意向がある障害者
就労継続支援B型	現行の就労アセスメント対象者（下記以外の者）	令和7年10月から原則利用	希望に応じて利用
	・50歳に達している者又は障害基礎年金1級受給者 ・就労経験ありの者（就労経験がある者であって、年齢や体力の面で一般企業に雇用されることが困難になった者）	希望に応じて利用	
就労継続支援A型		令和9年4月から原則利用	令和9年4月から原則利用※ 標準利用期間を超えて更新を希望する者
就労移行支援		希望に応じて利用	



利用ご希望の際は下記窓口にご相談下さい。

身体障害者・児	障害福祉課身体障害者支援係 03-5803-1219
知的障害者・児	障害福祉課知的障害者支援係 03-5803-1214
精神障害者・児 難病患者・児	予防対策課精神保健担当 03-5803-1847

**支援者説明時補足資料 令和7年12月版****Q.このサービスの目的は何ですか？(P.7)**

背景として、これまで客観的な評価や配慮の整理が不足し、ミスマッチややり直しが起きやすかった課題があります。就労選択支援は、①活動機会（見学・体験等）で事実を集め、②本人参加の多機関連携会議で強み・配慮・選択肢をすり合わせ、③結果をフィードバックして次の一步につなぐ、という、意思決定支援の仕組みです。目的は「本人が納得して選べる状態をつくる」ことであり、採用の約束やサービスの振り分けを行うものではありません。

**Q.なぜ就労選択支援を使わないといけないの？(P.2,P.9)**

何を選ぶか迷っている／配慮の伝え方が分からない／学校や医療、家族、就労系サービスの間で話がバラバラ、という場面では、意思決定を整えるサービスとして活用できます。

いきなり就職活動や福祉サービスを利用すると、ミスマッチが起こりやすい傾向があります。

- ①体験で適性と配慮を確認
- ②本人参加の多機関連携会議で希望と現実のすり合わせ
- ③必要な配慮事項＋次の一步を本人と検討し、整理
- ④次の窓口へ橋渡し

この流れにより、ミスマッチを減らし、やり直しの負担を軽くします。

**Q.私は利用対象に入りますか？(P.5)**

今、働き方を選ぶ支援が必要（例：移行・A/B・訓練・復職等の選択で迷っている）であれば、対象です。（在学中も利用可）

就労継続支援B型の新規利用者（令和7年10月より）、就労継続支援A型新規利用者・就労移行支援の3年目の更新者（令和9年4月より）は利用必須となります。（諸条件あり）

**Q.利用期間はどれくらいですか？(P.19)**

期間は1か月が基本となります。

**Q.費用はかかりますか？**

他の障害福祉サービスと同様の自己負担があります。

収入・所得に応じて上限が設定されます。利用される方の年齢によっても異なりますので、詳細については各窓口にてご確認ください。（連絡先はチラシ参照）

（区分：生活保護世帯0円／住民税非課税世帯0円／一般1=9,300円／一般2=37,200円）

**Q.サービス内容の流れを教えてください。(P.9)**

就労選択支援は、就職を“決める”場ではなく、決めるための材料（適性・配慮・現実的な選択肢）を概ね1か月で整理する場です。面談と体験で情報を集め、本人参加の多機関連携（学校・医療・就労系機関等）で整理し、

合理的配慮事項と次の一步を一緒に考えます。

- ①体験で適性と配慮を確認(P.22,P.24)
- ②本人参加の多機関連携会議で希望と現実のすり合わせ(P.26-P.27)
- ③必要な配慮事項+次の一步を本人と検討し、整理(P.28)
- ④次の窓口へ橋渡し(P.30)

**Q.アセスメント結果の情報は誰に共有されますか。**

1. ご本人（と必要に応じ家族）へ書面等で結果をお渡しします。
2. 相談支援専門員が関わっている場合、書面で共有します。
3. 多機関連携会議では、学校・医療・就労系機関・行政など個別ケースで必要な機関と結果を共有します。
4. サービス利用後に就労移行・A型・B型・障害者就労支援センター・就業・生活支援センター・ハローワーク等を利用する見込みの場合、ご本人の同意を得たうえで当該機関に共有します。
5. 区市町村（支給決定権者）より依頼があった場合、共有します。

**Q.多機関連携会議で提案された場所に行かないといけないですか。(P.26-P.27)**

会議で提案された場所に行く必要はありません。

会議ではこれから行く場所を一方的に決めるのではなく、次の一步を一緒に考える場です。

多機関連携会議は、体験や面談で得た材料をもとに「どの選択肢が良さそうか」「必要な配慮は何か」を本人参加ですりあわせる場です。

◎行き先の決定権はご本人にあります（本人主体の意思決定支援が原則）。

◎会議内で次の一步を決めた場合でも、“当面の第一候補”で、気持ちが変わった／条件が合わない場合は保留・再協議ができます。

**Q.体験（見学・実習）は必ずしないとイケないですか？(P.24)**

必須ではありません。必要ときだけ体験します。今ある検討材料で足りるか一緒に確認して決めます。

主に以下のような場合に行うことがあります。

- ◎希望があった場合
- ◎特定の環境や作業場面で合理的配慮の内容を確認する必要がある場合
- ◎最近の実習・就業等の記録だけでは検討材料が不足している場合



参考：厚生労働省「就労選択支援実施マニュアル」